

Ministerio de Desarrollo Sostenible y Medio Ambiente, Bolivia: Mapa de Desertificación de Tierras 1996 9) Ministerio de Desarrollo Sostenible y Medio Ambiente, Bolivia: Situación del Sector Forestal del Departamento de Tarija 1995 10) 国際大ダム会議フィルダム材料分科会: フィルダムの分散性土 1990 11) Tony MORRISON: THE ANDES (邦訳, 小堀 巖 監訳: 未踏の大自然/アンデス, タイム ライフ ブックス 1978) 12) FAO: Watershed management field manual, Gully control 1986 13) 八丁信正: 中南米における土壌浸食と保全対策, 国際農林業協力 20-5, 1997

---

### 図書紹介

◎熱帯雨林 岩波新書(新赤版) 624 湯本貴和著 カラー写真 4頁+x+205頁, 東京 1999 (価格 740円+税)

本書は, アフリカ, 中南米, 東南アジアなどの熱帯雨林を対象として長年にわたり研究に従事してきた著者が, さまざまな面から熱帯雨林の様相を語ったものである。

その特徴は, 近年, 世界各国でさかんになってきた「林冠生物学」の重要性と, 東南アジアにおいてフタバガキ科樹種を中心として特異的に起こる一斉開花現象について, それぞれ1章を設けて言及している点であろう。全体は「林冠の世界へ」, 「熱帯雨林とは何か」, 「多様な植物の世界」, 「種の多様性」, 「多彩な生物間相互作用」, 「一斉開花の謎」, 「熱帯雨林と人間」の7章から成るが, どこから読み出しても面白い。著者は, 「あとがき」において, これからの海外調査研究(とくに熱帯地域を対象とした)は, 綿密な研究スケジュールに基づくメンバー編成や長期的な展望に立った野外研究施設の重要性を, 実際に携った研究計画を例に引きながら強調しているが, 紹介者もまったく同感である。

なお, 本書と内容が重複する部分があるものの, NHK ライブラリー 81 の井上民二著「生命の宝庫・熱帯雨林」(日本放送出版協会, 1998, 価格 920円+税)も, 引用文献の豊富さを含め, 熱帯雨林を理解するうえで, おおいに役立つと思われる。(小久保 醇)